

種目【技術・家庭（家庭分野）】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るために、どのような構成・配列の特徴があるか。 ・小・中・高等学校の系統性を明らかにし、中学校段階として、生活に応用・発展できるもの、生活における工夫・創造につながるものになっているか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材において、生活の営みに係る見方・考え方を働かせていくための記述はどのようなようであるか。 ・身近な生活の課題発見を主体的に捉え、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す一連の学習過程がどのように位置付いているか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な課題、社会の状況の変化を把握したり、生徒の学習意欲を高めたりするための資料はどのように提示してあるか。 ・科学的な根拠から理解を深め、学習の意義を実感できる内容がどのように位置付いているか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」に対応した内容はどのように配置されているか。 ・各題材において、主体的な実践につながる内容がどのように位置付いているか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な学習を進めるための動画コンテンツとして、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。 ・新設された内容は、どのように取り上げられているか。 ・他教科との関連を図るために、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさ及び厚み、重量はどのようなようであるか。 ・内容A・B・Cごと及び総ページ数はどのようなようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいやその他の特性の有無に関わらず、生徒が活用しやすいものになっているか。 ・写真や図などの印刷状況はどのようなようであるか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化、安全、衛生、防災、環境、消費者教育に関わるマークの分量と位置付けはどのようなようであるか。

調査項目・着眼点の根拠

- 中学校学習指導要領（平成29年告示）
第1章 総則 第1 2
(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。
- 岐阜県教育振興基本計画（2019年3月）
基本方針3
目標11「これからの時代に求められる資質・能力」の育成